

# 獨協医学会

会 長 稲 葉 憲 之 (獨協医科大学学長)

## 運 営 委 員 会 委 員

簀持 淳*	石光 俊彦**	秋山 一文	阿部 七郎	安西 尚彦
石井 芳樹	黒須 明	桑島 成子	小島 勝	小嶋 英史
小林 哲	鈴木 純恵	田中 康広	千種 雄一	土岡 丘
中元 隆明	西山 緑	濱口 眞輔	春木 宏介	平林 秀樹
前川 正夫	緑川由紀夫	宮本 智之		

\*委員長 \*\*副委員長

## Dokkyo Journal of Medical Sciences 編集委員

石光 俊彦*	千種 雄一**	阿部 七郎	安西 尚彦	石井 芳樹
小島 勝	田中 康広	濱口 眞輔		

\*委員長 \*\*副委員長

## 編集事務員

鯉沼 行子

## 編 集 後 記

Dokkyo Journal of Medical Sciences/ 獨協医学会雑誌第42巻1号をお届け致します。本号には原著4編(英文3編, 和文1編), 症例報告4編(英文3編, 和文1編), 通信1編が掲載されております。本号の発刊に際し, 投稿・査読・編集・発行に多大なご尽力をいただきました先生方に心より御礼申し上げます。

昨年は科学界を揺るがす大きな事件がありました。皆様のご記憶にも新しいと思いますが, STAP細胞問題です。一時はiPS細胞に匹敵するほどマスコミにも取り上げられ, 日本の科学技術はiPS細胞の発見とともに世界の最先端にあるものと私自身も当時驚嘆したのを覚えております。しかしながら, その研究成果は疑問視され, 再度の検証実験でも再現性がないことが明らかとなり, その存在は現在否定されております。この問題に関わり, 日本における再生医療研究の第一人者である笹井教授が死去されたことは日本のみならず世界的にみても科学界の大きな痛手となり, 強烈なインパクトを受けました。この問題の当事者が意図的に研究データを捏造したのか, 現在のところ明らかとされておりませんが, 研究者のモラルや研究組織および研究体制の在り方など多くの

問題を提起することとなりました。その結果としてこの事件後, 多くの施設で研究者に対する再教育や研究組織の見直しが行われております。このような嘆かわし事件は今後あってはならないと思いますし, 研究者自身は研究者としての矜持を持って研究に臨んで欲しいと思います。

一方で日本の科学界には明るい話題もありました。青色LEDに関連した研究で赤坂勇教授, 天野浩教授, 中村修二教授の3名がノーベル物理学賞を受賞致しました。2012年に山中伸弥教授がノーベル生理学・医学賞を受賞したことはまだ記憶に残っていることと思いますが, 日本では2008年より隔年ごとに各分野でノーベル賞を受賞しており, 2014年までに10名の方々がその栄誉を掴んでおります。いずれの方のお話を拝聴していても自分の信念に基づき地道に研究を継続することの大切さが伺い知れます。ノーベル賞とまではいきませんがコツコツと研究を続け, その成果を本誌にご投稿戴きたいと思います。百里の道も一歩からです。会員皆様からのご投稿をお待ちしておりますので宜しくお願い致します。また, 引き続き獨協医学会の諸活動へのご支援・ご協力を何卒お願い申し上げます。(田中康広)

2015年3月20日印刷

第42巻 第1号

2015年3月25日発行

編集発行人

獨協医学会

稲 葉 憲 之

発行所

獨協医学会

製 作

教 文 堂

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880番地  
獨協医科大学  
Tel (0282) 86-1111 (内線2009)

〒162-0804 東京都新宿区中里町27  
Tel (03) 3260-6136